

第 **47**期

# 株主通信

[2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日]

## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 ここに、第47期 株主通信をお届けするにあたり謹んでごあいさつ申し上げます。



## 当期の業績

売 上 高	25,615百万円	前年比	4.1%增 🕢
営業利益	2,081百万円	前年比	4.5% 增 🕢
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,368百万円	前年比	4.1%增 🕢

## 第47期のご報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策 や日銀の金融緩和等を背景に、企業収益や雇用環境は改善 傾向にあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、 原油価格や為替の変動等により、若干の不透明さが残ってお ります。

当社グループが属する情報サービス業界では、企業収益が改善するなかで、IT投資需要は増加基調にあります。その中でもクラウドコンピューティングの普及拡大、IoT (Internet of Things:モノのインターネット)の推進、ビッグデータやAIの活用拡大など、企業の売上拡大や顧客サービス向上を目的にした競争力強化のためのIT投資への関心が一層高まっております。

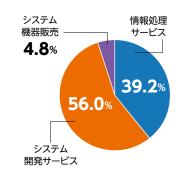
このような環境下、当社グループは、多様化する顧客ニーズに的確に応え、システム開発需要に対応するとともに、データセンターやクラウドサービスの商品力向上に注力してまいりました。

以上の結果、売上高25,615百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益2,081百万円(同4.5%増)、経常利益2,051百万円(同5.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,368百万円(同4.1%増)となりました。

配当につきましては、継続的な安定配当を基本方針としております。この方針に則り、当期の年間配当金は1株あたり38円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援 を賜りますようお願い申し上げます。

## サービス区分別売上高



情報処理サービス	システム開発サービス	システム機器販売		
売上高10,051百万円	売 上 高 <b>14,347</b> 百万円	売 上 高 1,216百万円		
売上構成比 <b>39.2</b> %	売上構成比 <b>56.0</b> %	売上構成比 4.8%		
前 期 比 2.7%增	前 期 比 2.9%增	前 期 比 35.8%增		

## 社長就任のご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、6月22日付で代表取締役社長に就任いたしました、坂井 満と申します。すべての役員・従業員一丸となり、エクセレントカンパニーを目指して、持続的な企業価値の向上に努めていく所存ですので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 坂井 満





新社長として、今後の事業推進に ついての考えを教えてください。



お客様との絆をより強固にする「守り」と 新たな市場領域やサービスを開拓する 「攻め」、両方をしっかりと実践していきます。

今までの事業方針を軸に、当社独自のビジネスモデルをさらに強化し、連続増収増益の達成を目指していくことには変わりありません。

付け加えれば、現在のこの追い風の業界事業環境のなか、 事業規模拡大が重要なテーマと認識しており、成長スピード を加速していかなければならないと考えております。

そのうえで、これから徹底して推し進めていこうと考えていることは、お客様との絆をより強固にする「守り」と新たな市場領域やサービスを開拓する「攻め」、この両方をしっかりと実践して、揺るぎない事業成長基盤を作り上げていくことです。

そのために、先ず、「お客様第一の考え方の徹底」をあらためて図ってまいります。これは、常にお客様視点でのフォローを充実していくことで、お客様の安心・安全そして満足度の向上に繋がることだからです。そのうえで、「付加価値のある提案営業の強化」や「成長が見込めるクラウドサービスなどの

新商品の開発」を実施していくことで、お客様の期待値を超えるサービスの提供が実現できます。そして、これらを実現していくためには、社員が技術的にも人間的にも成長していくことが最も重要であると考えています。ですので、優秀な人材の確保、人材育成、キャリア形成への取り組み等、「人材への投資」を今まで以上に進めてまいります。



さらなる成長のために、強化するポイントや新たな取り組みがあれば教えてください。



当社の強みとなるビジネスモデルの さらなる展開と、パートナーアライアンスの 強化・拡大を推し進めていきます。

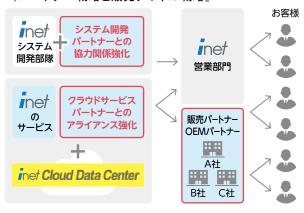
1つ目は、「パートナー様戦略と販売チャネル戦略」の強化・

拡大です。企業のIT投資需要は、事業競争力強化やビジネス変革を目的に、システム開発やITサービス活用、さらにはデジタル情報技術の進化の流れを受け、今後、ますます拡大・多様化していきます。それらのお客様ニーズにしっかりと応えられる体制を整えていくことが事業成長の必須条件となります。その強化策の一環として今年3月に28社の開発パートナー様とパートナー会を立ち上げました。開発案件対応は勿論のこと、営業・技術交流などを通して双方の成長に繋げていきます。また、クラウドサービスパートナーとのアライアンスを強化拡大していきます。これは、戦略的で高品質なITサービスを提供している会社と、データセンター・クラウド基盤を保有している当社が連携し、クラウドサービスとして提供をするという、それぞれの強みを生かしたアライアンスモデルです。パートナー様は勿論、当社もクラウドサービスとして拡販して

いきますので、当社のクラウドアプリの品揃えの充実に繋がります。昨期に連携をいたしました、ユニリタ様のセキュリティ関連サービスやネオジャパン様のグループウェア・ビジネスチャットのコミュニケーションツールなどもこの例です。そして、これらアライアンスモデルも含めたサービスや商品の販売チャネルの増強策としては、メーカー系をはじめ営業力の豊富な企業との販売提携によりこれまで以上に積極的に販路を増やしてまいります。

このパートナー様戦略と販売チャネル戦略は、当社の成長 スピードを押し上げる重要な施策として位置付けて強化して まいります。

### ●『パートナー戦略と販売チャネル戦略』

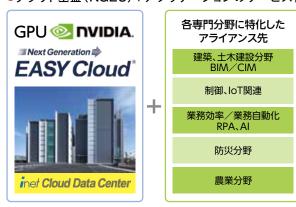


2つ目は、「当社のクラウド基盤(NGEC)+アプリケーションのサービス化」です。 今後成長が見込める分野でのアプリケーションや新技術、ノウハウなどを保有している専門分野に特化した会社とのアライアンスを積極的に進め、当社の強みである先進的なクラウド基盤を組み合わせることで、様々な業種における企業のビジネス変革や社会問題の解決に繋が

## トップインタビュー ~新社長に聞く~

る新たなクラウドサービスを構築し提供をしていきます。当社のドローンIoTプラットフォームを活用した、建設、土木建設分野や防災分野、農業分野でのサービス提供をはじめ、業務効率や業務自動化を実現するRPA (Robotic Process Automation)やAIサービスなどの分野にも注力していきます。このアライアンスモデルは、当社の新たな成長分野を構築する重要な施策として位置付けています。

### ●クラウド基盤 (NGEC) +アプリケーションのサービス化



### 3つ目は、「企画からBPOまでの一貫ビジネスにおけるクロ

スセル」のさらなる推進です。これは、今までと変わらぬ継続的な取り組みです。当社独自のビジネスモデルである企画フェーズ〜BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)という上流から下流までのワンストップサービスの提供とお客様ニーズに立脚した様々なサービスをシームレスに展開していきます。お客様がシステム化を考える時に、その企画段階からご相談に応じ、システム開発、お客様での運用もしくは当社データセンターでの運用、プリント業務のあるものはその封入封緘作業まで、ご要望があればデータを一度もデータセン

ターの外に出さずに処理することも可能です。お客様の業種・業態に関係なく、間口の広い営業活動を行ってまいります。この推進をさらに深めていくことで、お客様の満足度向上と事業競争力アップに繋がります。

### ●企画からBPOまでの一貫ビジネスにおけるクロスセル



さらに当社グループの未来に向けては、既に進めているドローンIoTプラットフォーム事業と同様に、企業が最も重要なIT投資として捉えている、IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクスなどデジタル新技術を活用した様々なステージで、ワンストップサービスとしてお客様に提供をしていく領域に果敢に挑戦していきます。その実現のためにデジタル新技術を用いた新サービスの開発や実証実験などの研究開発投資を計画的に実施していくとともに、既にその市場で実績を積み上げている、またはノウハウを保有している企業との連携も合わせて進めていくことを考えています。また、M&Aに関しましては、新技術の獲得や既存ビジネスの拡大などを目的に、しっかりと見極めたうえで進めていきたいと思っています。



2019年3月期の見通しについて教えてください。



好調を持続し、更なる売上拡大と 過去最高益の更新を目指します。

今期(第48期)の当社を取り巻く事業環境は、引き続き、国内景気と共に順調に推移すると予想しております。企業のITに対する旺盛な投資意欲を背景に、IT市場は更なる拡大が見込まれます。また、企業はコスト削減のためクラウドサービスの活用を進めると共に、IoTの推進やビッグデータ、AIなどを活用し、さらなる業績拡大や顧客サービス向上を目的にした競争力強化のためのIT投資を加速させております。

当社グループも、これらの企業ニーズに応えるため、システム構築、データセンタービジネス、クラウドサービスなどに、これまで以上に注力してまいります。

以上のことから、今期(第48期)の連結業績は、データセンタービジネスとクラウドサービスを更に向上させるとともに、システム開発サービスやSSなど、既存ビジネスも伸ばしていき、売上高は267億円(前年比4.2%増)、営業利益21.9億円(同5.2%増)、経常利益21.4億円(同4.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益14.3億円(同4.5%増)を見込んでおります。

### ●48期の計画

売 上 高 267億円 (8期連続増収) 営 業 利 益 21.9億円 (過去最高) 経 常 利 益 21.4億円 (過去最高) 親会社株主に帰属 する当期 純利 益 14.3億円 (過去最高)



最後に、株主の皆様への メッセージをお願いします。

Α

業績好調を見通し増配を実施、 引き続き業績拡大による 安定した利益還元を目指します。

当社は、事業方針の更なる推進と当社の強みを生かしたビジネスモデルで持続的成長を実現し、財務基盤の強化を図りつつ、株主の皆様へ安定した利益還元を実施してまいります。配当金につきましては、今期(第48期)は増収増益の見通しでありますので、前期(第47期)の普通配当38円から、さらに2円増配し、7期連続増配となる40円の配当を予定しております。

最後になりましたが、グループー丸となり目標達成に邁進 してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わ らぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### ● 1株当たり年間配当金の計画(7期連続増配予定)



株式分割(1:1.1)

## [皆様の暮らしを支えるアイネット]

## アイネットは、ITサービスで、皆様の生活や



**ガソリンスタンド** 皆様がガソリンや灯 油を購入される際に、 スピーディかつ正確な 精算が行われるよう、 当社データセンターで はクレジット決済業務 や売掛処理を行い、ガ ソリンスタンドのサー ビスを支えています。



製造・販売・物流・会計 など様々な分野におい て、システムを開発し、 導入後も継続的にサ ポートさせていただく ことで、お客様のビジ ネスの発展に貢献して



皆様の身の回りにある スマートフォンなどの 精密機器のセンサーの 高速化や省電力化、カ ーナビの機能向上な ど、便利で使いやすい 機能を付加して、皆様 にご利用いただいてい ます。



診断用装置:治療用装 置などの医療機器や家 庭でお使いになる在宅 医療機器の設計開発を 通じ、最先端医療を支 えています。



## 航空/旅行会社



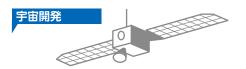
航空会社や旅行会社 へ予約システムやチケ ットレスサービスなどを 納入することで、皆様 がスムーズな予約をは じめ安全で快適なサー ビスを受けられるよう サポートしています。



**Dream Cloud** 

大型ビルから戸建住宅 まで、設計施工図面をデ ジタル保管することで、 建設中はもちろんのこと 引き渡し後のメンテナン スやリフォーム時にも速 やかに図面を検索、共有 できるようになり、アフ ターサービスのレベルア ップに貢献しています。

## 企業活動をサポートしています。



様々な観測衛星の設計・検査・運用に参画し、カーナ ビの精度向上、地球環境変動の監視や災害予知に 貢献しています。小惑星探査機や国際宇宙ステーシ ョンなどの運用にも携わり、宇宙科学の発展にも貢 献しています。

### 銀行/金融機関



ATMや窓口における 入出金、残高管理など の各種システムを開 発し、サービス提供す るとともに、キャッシュ カードや各種通知、ご 請求書などを作成し、 皆様へお届けしてい ます。



店舗システムを担当 し、商品陳列から売れ 筋商品の欠品防止、電 子マネーやクレジット のご利用からポイント 管理までと、身近な場 所で皆様の生活の利 便性向上に役立ってい ます。

## 官公庁/自治体



行政機関からコンピュ 一夕をお預かりするとと もに、納税や年金など の個人情報に関わる重 要な通知を、高セキュリ ティのデータセンター 内で厳密に処理し、皆 様にお届けしています。

## 事例紹介 こんなところに携わっています。

### 事例 1



## スペースデブリ対策

近年、古い人工衛星やロケットの 部品、破片等による、スペースデ ブリ(宇宙ゴミ)が増加し、人工衛 星や宇宙ステーションに衝突し大 被害をもたらすリスクが高まって います。当社は、今後の安全な宇 宙利用に向けて重要となるスペ ースデブリ対策のサポートに携わ っています。

## 事例 2



## コンビニ関係の システム開発

今やコンビニは商品販売だけで なく、通販の受取りやATMの利 用など、生活になくてはならない 存在となっています。当社では30 年以 トコンビニのシステム開発 に携わっており、レジ業務から売 れ筋商品の分析、最近ではAI発 注やコンビニ運営の通販サイトま で、皆様により便利にご利用いた だけるよう、サポートしています。

## 連結財務諸表の概要

[損益の概要]			(単位:百万円)
	前期 (2016/4/1~2017/3/31まで)	<mark>当</mark> 期 (2017/4/1~2018/3/31まで)	増減額
売上高	24,617	25,615 ポイント	998
	5,900	6,065	165
営業利益	1,992	2,081 str	88
	1,939	2,051	111
親会社株主に帰属する当期純利益	1,314	1,368	53
[恣帝,台唐の柳西]			(単位:百万円
[資産・負債の概要]	<b>前期末</b> (2017/3/31現在)	<mark>当期末</mark> (2018/3/31現在)	増減額
流動資産	8,850	9,822 ポイント	971
固定資産	16,192	16,365	172
流動負債·固定負債	12,358	12,680 ポイント <b>4</b>	322
純資産	12,684	13,507	822
総資産	25,043	26,188	1,144
[キャッシュ・フローの概要]			(単位:百万円)
「イヤックユ・ノローの概要」	- <b>前 期</b> (2016/4/1~2017/3/31まで)	<mark>当 期</mark> (2017/4/1~2018/3/31まで)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,932	2,937	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△979	6 △1,223	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,728	△1,330	398
現金及び現金同等物の期末残高	2,920	3,303	383

株主の皆様に必要なIR情報を公開しております。 財務諸表の詳細はこちらでご確認ください。 www.inet.co.jp/ir/

アイネット IR

検索/m

## [決算数値のポイント]



データセンターやクラウドサービス、金融業向けや流通サービス業向けのシステム開発などが堅調に推移した結果、売上高は998百万円増加し、7期連続の増収となりました。

ポイント 2

期初から計画していた大型開発案件の延伸、また、期初に行ったクラウドサービスの販売促進強化に伴う先行投資の増加があったものの、第2四半期からの売上が順調に増加したことにより、営業利益は88百万円増加し、過去最高益を更新しました。

ポイント

業務・資本提携による有価証券の取得により660百万円増加しました。一方で有形・無形固定資産は減価償却等により550百万円の減少となり、差し引き172百万円の増加となりました。

ポイント

借入金は445百万円の減少となりました。一方で、買掛金、未払金や未払法人税等が増加したことにより、負債合計は322百万円の増加となりました。

ポイント

期末利益1,368百万円を計上した一方、588百万円の配 当金支払い等があり、822百万円の増加となりました。

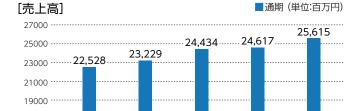
## ポイント 6

## [ 営業活動によるキャッシュ・フロー ]

利益および減価償却による内部留保で3,510百万円増加しました。一方で、売上債権の増加638百万円等があり、2,937百万円の獲得となりました。

### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

有利子負債の減少445百万円、リース債務の返済295百万円、配当金支払い588百万円等を実施したことによるものです。

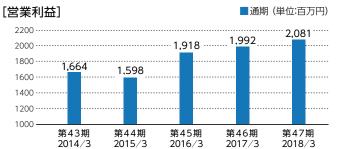


第44期

2015/3

17000 -

第43期



第45期

2016/3

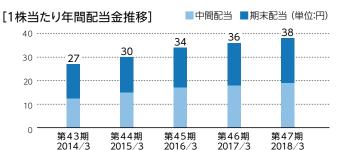
第46期

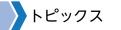
2017/3

第47期

2018/3







### 主な活動をご報告いたします。

株式会社ユニリタとの 資本業務提携

## INIBITA

ユニリタが開発するサービスを当社の クラウドサービス上で提供するなど協 業ならびに技術提携を行っています。 クラウド型データセンターを活用した 事業展開力強化を図ってまいります。



Japan IT Week 春 2017出展



ITに関する様々な製 品・サービスが一堂 に出展する日本最大 の専門展、Japan IT Week 春 2017に

おいて、「クラウドコンピューティングEXPO」及 び「IoT/M2M展」の2筒所に出展致しました。

定時株主総会と事業説明会



第46回定時株主 総会を横浜ベイホ テル東急で開催致 しました。総会後の 事業説明会では、

業績概況ならびに事業戦略の説明を行い、 株主の皆様にご理解を深めて頂きました。

[Drone Business Realizing Initiative Japan(DBRIJ)]設立



Dアカデミー、トライポッドワ ークス、ドローン・ジャパンと 共に、各社の強みを生かしド ローンビジネスの実用化を 加速することを目的としたア ライアンス「DBRIJ」を設立 致しました。



「かながわ女性の活躍応援団」 ムーブメント拡大意見交換会



黒岩知事を中心に神奈川の企 業等20社のトップで結成した 「かながわ女性の活躍応援団」 のムーブメント拡大意見交換 会に当社取締役会長の池田 典義が出席し、当社の取組み について発表しました。

2017 4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2018 1月

2月

3月

各地域展示会へ出展(名古屋、大阪、広島、福岡)



ビジネスショウ&エコフェア2017 ひろしまIT総合展2017

日本最大級の異業種交流 展示会「メッセナゴヤ 2017」をはじめとして、各 地域の展示会へ積極的な 出展を行い、製品サービス の販促活動を行いました。

ドローンIoTプラットフォーム事業の拡大



「ドローンIoTプラットフォーム事業」 の一環として、「ドローン飛行場 (Dream Drone Flying Field: DDFF) Jを千葉県君津市に新たに 開設致しました。ドローン事業を検

討する企業様へ実証実験場として提供していきます。

君津市と「災害時等における無人航空機 による協力に関する協定」を締結



災害時等においてドローンによる 映像・画像等の情報収集及び提 供により、災害時のいち早い対処 など災害に強いまちづくりを推進 することを君津市と連携しながら 進めることを目的としています。

2019年入社向け採用活動スタート



マイナビ就職FXPO 横浜会場

「マイナビ就職EXPOIの東 京、横浜両会場への出展をは じめとして、県内の業界団体 が主催するイベントへの出展 や学内説明会等、積極的に 採用活動を行っています。



機関投資家・アナリスト 向け決算説明会



当社グループに対 する理解促進を図る ため決算説明会を 年2回開催し、事業 戦略や業界の景況

感、業績についての説明を行っています。

inet west®提供開始



関電システムソリ ューションズと協 業し、関西地区の 提携データセンタ

−[inet west®]

のサービス提供を開始致しました。

Dream Cloud Seminar 2017



7月7日に当社のクラウドサービ スについてご紹介するセミナー を開催致しました。複数の企業 からゲストを迎えて行ったパネル ディスカッションや七夕にちなん

だ展示ブースなど、盛況なイベントとなりました。

NVIDIA社パートナー プログラム締結



GPUの世界的企業であるNVIDIA社のパートナー プログラム[Cloud/Virtualization CSP]を国内 で初めて締結し、高度なグラフィックス機能が必要 なCADやBIM、CIM等も快適に動かせるVDI 「vGPU-VDIクラウドサービス」を開始しました。



横浜健康経営認証2018 認証事業所



従業員の健康づくりを 経営的な視点から考え 戦略的に実践する[健康

経営」に取組んでいる事業所として、 本社と当社特例子会社のアイネット・ データサービスが認証されました。



個人投資家向け会社説明会



個人投資家向け会社説明 会を横浜、名古屋、大阪の3 都市で開催致しました。当 社の事業内容、ビジネスモ

デル、配当方針や社会貢献への取り組み等を説明 し、個人投資家の皆様に理解を深めて頂きました。

会社の概況 (2018年3月31日現在)

## アイネットグループの主な社会貢献活動をご報告いたします。

### 障がいのある方の自律を支援

当社グループは、障がいのある方が、障がいのない方と同様に、その能力と適性に応じた職業に就労し、自律した生活を送ることができる社会の実現に向けた支援も社会貢献活動のひとつと考えております。その取り組みとして、障がい者雇用の促進を目的として特例子会社の株式会社アイネット・データサービスを設立し、障がいのある方が「自立・成長・自律」できるよう支援を続けております。

### 特例子会社

「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、企業が障がい者の雇用にあたり就労環境や就労条件など特別に配慮した子会社を設立し、一定の条件を満たしているとの厚生労働大臣の認定を受けた会社をいう。

### 株式会社アイネット・データサービス 経営理念

### 自立そして自律





<u>--</u> 自らの力で、社会人として独り立ちできることを目指す

### 成長

自らの目標に向かい、努力することで成長を促す

## 自律

自らの考えに従って、行動できることを目指す

障がいを持つ社員個々人が、自らの力で独り立ちし、そして自らの考えで行動できるように、私たちは応援してまいります。

## 保育施設検索サイト「働くママ応援し隊」を開設

保育施設検索ウェブサイト「働くママ応援し隊」を開設致しました。横浜市が発信するオープンデータに加えてより詳細な情報を独自で収集し、充実した情報発信、検索の利便性向上を図り、保護者にとって「わかりやすい」「検索しやすい」「多くの情報が掲載されている」サイトを運営しております。これからも子育て支援や女性活躍推進につながる取り組みを行っていきます。

また、本サイトは、内閣官房の運営する政府CIOポータルにて公開されている「オープンデータ100」に掲載されました。



サイトトップ

URL http://kosodate.inet.co.jp/

## アンケートにご協力ください 🥒

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくために、アンケートを実施しております。お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにご記入の上、7月31日までにご投函いただきますようお願い申し上げます。



お送りくださいの対している

# 本 社 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号電 話 番 号 (045)682-0800(代表) U R L www.inet.co.jp/

設 立 1971年4月22日 **☆ ☆ ☆ 3 203 003 600**Ⅲ

資 本 金 3,203,992,690円 従 業 員 数 1,324名(連結)/887名(単独)

事業内容情報処理サービス

システム開発サービス システム機器販売

上場金融商品取扱所 東京証券取引所市場第一部(9600)

号 株式会社アイネット/I-NET CORP.

### **役員**(2018年6月22日現在)

取締役会長  $\blacksquare$ 坂 井 梶 本 繁 昌 佐 伯 友 道  $\blacksquare$ 直克 石 直 記 下 昌 和 浅 井 紀代子\*1 竹之内 幸 子\*1  $\blacksquare$ 下 佳 彦\*2 浦 川 親 章\*2 \*1…社外取締役 \*2…社外監査役

所有者別構成比

■ 金融機関

証券会社

国内法人

■ 外国法人等

■ 金融機関

証券会社

■ 国内法人■ 外国法人等

株主数

■ 個人・その他 95.19%

株式数

■ 個人・その他 59.79%

0.72%

0.67%

1.42%

2.00%

22.21%

0.88%

9.44%

7.68%

### 子会社

株式会社ISTソフトウェア www.ist-software.co.jp/

資本金608百万円 事業内容情報処理サービス

システム開発サービス システム機器販売

株式会社アイネット・データサービス (特例子会社)

www.inet-d.co.jp/ 資 本 金 9百万円

事 業 内 容 情報処理サービス

## 株式の状況(2018年3月31日現在)

## 株主数3,745名発行可能株式総数60,000,000株発行済株式の総数16,242,424株

### 大 株 主

			株	主名						持株数(株)	持株比率(%
池		E	}			典			義	1,741,579	10.95
ア 1	ネ	ツ	<b>\</b>	従	業	員	持	株	会	1,352,456	8.51
日本ト	ラステ	イ・サー	ビス信	言託釒	艮行	株式	会社	(信託	□)	1,053,500	6.63
北		Л				淳			治	781,330	4.91
株式会社	横浜銀	行(常任	代理人:	資産管	理サ-	-ビス信	託銀	行株式会	会社)	707,300	4.45
BNP PAF LUXEMB										410,000	2.58
日本マ	'スタ-	ートラ	スト信	託銀	行村	株式:	会社	信託	□)	356,100	2.24
有限	会	社.	エヌ		ア	ン	ド	・ア	1	316,778	1.99
日本生命	保険相互	会社(常	任代理人	日本マ	スター	トラスト	信託銷	<b>表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表</b>	会社)	275,000	1.73
三素	吏 総	研	D	C	S	株	式	会	社	239,580	1.51

※持株比率について… 自己株式を343,422株保有しておりますが、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## IR カレンダー

2018年 7月31日	2019年3月期第1四半期決算発表
9月30日	中間配当金の基準日 株主優待権利確定日
10月下旬	2019年3月期第2四半期決算発表
11月下旬	2019年3月期第2四半期決算説明会
12月上旬	2019年3月期第2四半期株主通信発送 中間配当金支払い
2019年 1月下旬	2019年3月期第3四半期決算発表
3月31日	期末配当金の基準日 定時株主総会基準日
5月上旬	2019年3月期決算発表
中旬	2019年3月期決算説明会
6月上旬	定時株主総会招集通知発送
下旬	第48回定時株主総会 決議通知書、株主通信発送 期末配当金支払い

### 配当金

## 1株当たり年間配当金40円(予想)

当社は将来の資金需要に備え内部 留保を充実しつつ、安定的な配当を 継続して実施することを基本として おります。第48期は、1株当たり年 間40円(中間配当金20円、期末配 当金20円)を予定しています。



### ■株主優待制度

## 株主優待のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式の魅力を 高めることを目的に、株主優待をもうけております。

### ■ 対象株主様

9月末日時点で1.000株以上保有いただいている株主様

### ■ 優待内容

所有株式に応じて当社オリジナルのQUOカードを年1回(12月上旬)お届けいたします。

### ■ 社会への貢献

贈呈額の10%を別途、当社より障がい者支援団体等に寄付をさせていただきます。昨年12月に贈呈の株主優待分につきましては、特定非営利活動法人横浜移動サービス協議会に全額寄付いたしました。

### 所有株式数

### 優待内容

1,000株以上3,000株未満 ···· 1,000円分 3,000株以上5,000株未満 ···· 2,000円分 5,000株以上 ···· 3,000円分

オリジナル QUOカードを 贈呈!

さらに3年以上継続保有の場合は、1,000円分のQUOカードを追加

## 株式メモ

事 業 年 度 定 時 株 主 総 会 基 準 日 4月1日~翌年3月31日

毎年6月

日 定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日

株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1

TEL 0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所公告の方法

東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行います。

公告掲載URL

www.inet.co.jp/ir/stock.html/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない 事由が生じた際には、日本経済新聞に公告致します。)

### [ご注意]

- 1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎ致します。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払い致します。

## ホームページのご案内

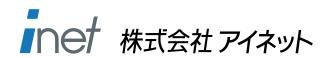
トップページより

IR情報をお選びいただくと、 最新情報がご覧いただけます。

www.inet.co.jp/

アイネット 検索 🚾





(商標について) 記載されている製品名などの固有名詞は、 各社の商標または登録商標です。

